



卒業アルバムより

10組担任 田中 格先生の思い出



筆者：近影



卒業アルバムより

宮澤 憲一

・・・先生、お元気で!!

- ◎ 10組の担任の田中先生は若々しく見え、近寄りたがたい存在ではなく、我々の兄貴分のような方だった。授業中はたびたび駄洒落をとばすユーモアのある先生だった。
愛称<格さん>で親しまれた。
- ◎ 筆者個人としては、先生に特段の迷惑をかけたことや、喜んでいただいたことは無かったと思っており、この場で特記するエピソードは無い。
- ◎ クラスのA君は、3年生時に受験科目ではない物理の授業中、内職に励みすぎて担当の某先生がA君には単位はあげないと言われた。先生はA君のため某先生に頼み込み、卒業させてもらうのに苦労されたと、ご本人から聞いたことがある。本来はA君が「お世話になりました」と一筆書くべきであるが、音信が取れず残念だ。
- ◎ 何年も前に、一度だけ上田で同級会を開催し先生も参加された。その時記憶に残っている一言は「俺より先に逝かないでくれ」である。しかしその後何名かが鬼籍に入ってしまった。
同級会后、先生が希望者にご自身の随筆本を下された。
同本によると、『いい生徒たちに恵まれて、クラスとしては手もかからず、楽しい毎日だった』と記されており、私生活も含めて順調な時代だったようだ。
昨今の情報では、体調を崩されているらしく心配している。
お元気でご長寿を!と祈っている。



田中先生の著書
『わだちの影』